

北区会 自由な趣味の会

第27回「書道の会」活動計画

2020年 11月 27(金)

1. 参加者と場所と時間

時 間	場 所	参 加 予 定 者
9時00～12時30	KSC 学習室3	講師藤澤淑子: 庶務土井、佐伯、鬼村、長谷川、道満、山崎、河合、平井、筒井、小西、前田 敬称略12名

はじめの会

藤澤講師

楷書は一字一字の長短・バランス・空間の分割などあらゆる要素にわたって細かい配慮がいります。

1. 藤澤講師一言

書は楷書に始まり、楷書に帰ると言った人が居る。「楷書は始めから終わりまで、つまり終生書通す事大切。そして楷書の基本である一点一画を徹底して身に着ける事が必要で第一で

2. 4月～10月までの「課題・書」、練習してください！

* 藤澤講師が作品 書の書き方説明と添削をして頂く。

藤澤講師 提案の書

3. 手習:基本用筆の練習は…。

今までの宿題と本番の書。日々の練習この文字も日々繰り返し手本にしてください！

第一回からの書(練習作品)について

※作品名「永」=古来より点画の根源と筆法の秘訣(永字八法)。

初回作品「脩景」=南陸迎=脩景、朱明送=末垂。

第一回作品「神秀」=天台山者、蓋山嶽之神秀者也。

第二回作品「松月」=夜鶴眠驚松月苦、曉むささび飛落峽煙寒

第三回作品「心照」=心照、唯我興子

第四回作品「勁秋」=悲=落葉於勁秋、風霜の厳しい秋

第五回作品「尺素」=呼児亭鯉魚 中有尺素書

第六回作品「清塵」=苔苔歷=千載、遙遙播=清塵

第七回作品「不識」=「帝日、對レ 朕者誰。磨云、不識」

第八回作品「浴徳」=「儒有=操レ身 浴レ徳」

第九回作品「白眉」=「馬氏五常、白眉最良」

第十回作品「好古」=「信而好古」過去のものを信じ、かつ愛する

第十一回作品「秀敏」=「自非=文行秀敏、莫レ或レ居レ之」

第十二回作品「學海」=「百川學レ海而至=干海」

第十三回作品「村巷」=「西風=入村巷、清涼八月天」

第十四回作品「新秋」=「槐花雨潤新秋地、桐葉風翻欲夜天」

第十五回作品「善意」= 此亦子善意也

第十六回作品「知困」=「教然後知レ困、知レ困然後能自強也」

第十七回作品「忘言」=「言者所=以在=レ意 得レ意而忘レ言」

第十八回作品「端雪」=「始見 青雲= 十律呂、俄逢端雪= 応陽、

第十九回作品「端雪」=「恭」は態度の恭しさであり「敬」は心の恭しさである。(礼記)

第二十回作品「和睦」= 民が和らいだ状態であれば、その時には君の徳も明らかであり民に知られる。

第21回作品「花雨」= 香雲偏山起、花雨從天來

第22回作品「自閉」=「門 余何意柄碧山、笑而不答心自閉」

第23回作品「懷風」=「抱月如可明懷風殊復清」

第24回作品「無依」=「所以佛從無依生」

第25回作品「玄達」=「耳目精明玄達」耳と目の働きが清徹玄達なり

第26回作品「秋浦」= 秋浦長似秋、簫条使用愁「秋浦はとこしえに秋に似たり簫条として人をして愁えしむ」



第27回作品「尋芳」= 芳(花)を尋ねて花を探し歩く「尋芳愁路蓋逢景畏人多」

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「土井」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備をお願いします
- 3) 一回500円の諸費を参加出席者をお願いします。

次回予定

令和貳年 12月 日(月)

場所: しあわせの村内